

## 補足資料 2:「白くまくん」プレミアムXシリーズ 季節ごとの主な快適機能

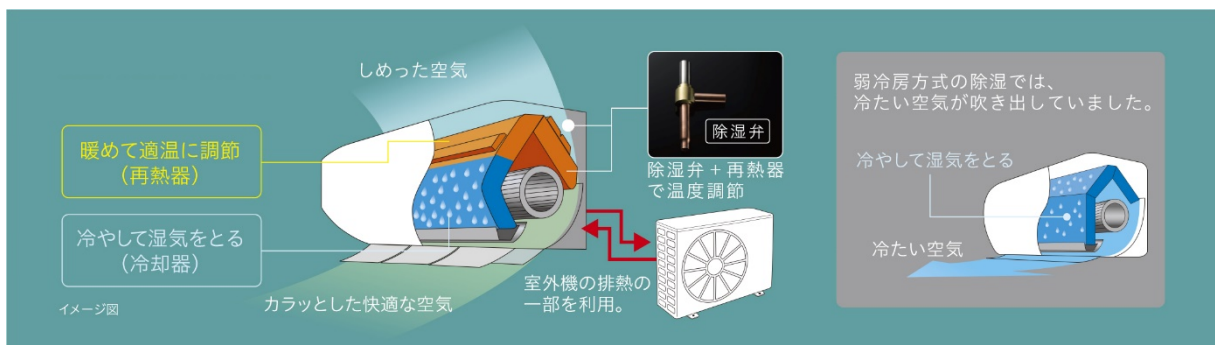
「白くまくん」プレミアムXシリーズは、清潔機能に加えて快適にお過ごしいただくための便利な機能も多数搭載しています。これらの機能により、1年を通じて快適な室内環境の実現に寄与します。

### 1. 冷房シーズン前に、内部を自動お掃除。さらに故障部分を診断「プレシーズンお手入れ」

日立独自<sup>(※1)</sup>の「プレシーズンお手入れ」<sup>(※2)</sup>機能は、エアコンを最も使用する冷房シーズン前に自動でフィルター自動お掃除、ファン自動お掃除「ファンロボ」、熱交換器自動お掃除「凍結洗浄」運転を行うことにより、故障を自己診断します。また、「凍結洗浄」によって本格的な使用開始前にお手入れができるので、快適にシーズンを迎えることができます。

### 2. 寒くならず<sup>(※3)</sup>に湿度を下げる「カラッと除湿」

一般的な弱冷房方式の除湿運転は室内機に取り込んだ空気を冷やすことで湿気を取り、冷やした空気をそのまま室内に戻していましたが、再熱方式の「カラッと除湿」は冷やして湿気を取った空気を適温に調節して室内に戻すことで、寒くならずに除湿することができます。カラッと除湿には、以下のような機能があります。



[図 1:「カラッと除湿」のしくみ(イメージ図)]

#### ・ランドリー除湿(カラッと部屋干しモード)

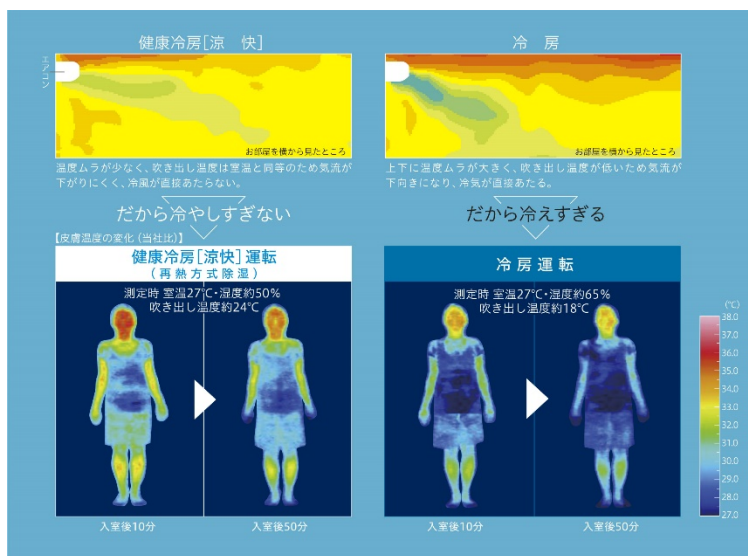
本製品に搭載している「くらしカメラ AI(エーアイ)」の「湿度カメラ」機能で、部屋干しの洗濯物を見つけると、集中的に除湿して乾燥しやすくします。室温の低い時は暖房運転を組み合わせで運転します。

#### ・カビ見張り除湿

室内の温度と湿度を見張り、カビが発生しやすい状態(室温 10℃以上で湿度 70%以上)になると、湿度約 40~50%を目標に、自動的に除湿運転を行います。さらに「くらしカメラ AI」の「湿度カメラ」機能で、湿度が高いエリアを優先的に除湿します。

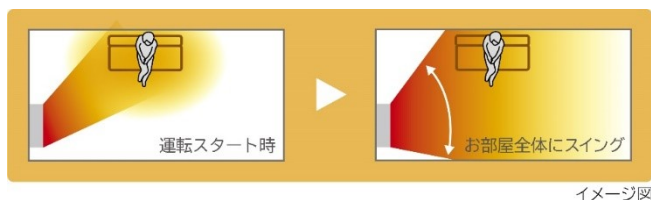
### 3. 冷やしすぎない、やさしい涼しさ。健康冷房「涼快」

健康冷房「涼快」は、室温と湿度を自動でコントロールし、部屋全体をすばやく冷やしたあとは、湿度中心のコントロールで、風が直接あたらず快適です。



[図 2: 健康冷房「涼快」(イメージ図)]

4. 足もとをまずはしっかり、すばやく暖め、室温が安定したら風を感じさせず暖かい。快適暖房「AI 気流(お部屋モード)」と組み合わせて暖房運転をスタートすると、人のいる方向に温風を吹き出し、足もとを中心にすばやく暖めます。「くらしカメラ AI」がお部屋のタイプや間取り、人のいる位置を認識し、室温が安定したら、3つに分かれたフラップで気流を快適にコントロール。風を感じさせない、つつみ込むような暖かさをお届けします。



[図 3: 「スピード暖房」(イメージ図)]



[図 4: 「つつみこみ暖房」(イメージ図)]

- (\*1) フィルター自動お掃除、ファン自動お相に「ファンロボ」、熱交換器自動お掃除「凍結洗浄」運転を行うことにより、故障を自己診断する技術。
- (\*2) 工場出荷時には設定されていません。お客様ご自身による設定が必要です。使用状況や環境により運転しないことがあります。
- (\*3) 一般社団法人 日本冷凍空調工業会による室温が下がらない再熱方式。条件: 一般社団法人 日本冷凍空調工業会基準。RAS-X40M2。室外温度 24°C・湿度 80%、室内温度 24°C・湿度 60%の恒温室で連続運転。設定風速 急速パワフル、設定湿度 40%。消費電力 795W、除湿量 1,460ml/h、吹き出し温度 24°C。  
※使用する条件、機種により消費電力と除湿量は異なります。また、設定温度・湿度にならないことがあります。